

バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 農村振興局長賞)

近畿

・応募主体

築野食品工業株式会社

・都道府県・市町村

和歌山県かつらぎ町

・取組分野

BDF燃料等

取組概要

廃食用油から各種インク・塗料や接着材等の原料となるダイマー酸・モノマー酸やBDF燃料等を製造。

廃食用油処理量2,600万㍑/年の規模の設備（ダイマー酸 7,200t/年・モノマー酸 3,600t/年・脂肪酸エステル 1,200t/年の製造が可能）を有し、全国各地の家庭や飲食店、食品会社等から排出される廃食用油を回収業者を通じて購入し、これを原料として各種インク・塗料や接着剤の原料となるダイマー酸・モノマー酸を製造、販売。廃食用油の一部は脂肪酸エステル化し、潤滑油やBDF燃料等として提供。

廃食用油の分解時に発生するグリセリンは主として自社で燃料として使用し、化石燃料を節約。

工場で発生する活性汚泥は、有機肥料として販売している。

また、バイオマスを扱う会社として、社員を始め周辺地域の家庭からの廃食用油を会社に持ち込むよう呼びかけ、回収を行っている。

